別記様式第1号の2（第3条関係、第51条の8関係）

消防計画作成（変更）届出書

年 月 日	
釧路北部消防事務組合標茶消防署 消防署長 高橋 勝 殿 <div style="text-align: right; margin-right: 100px;"> 防火 防災 管理者 </div> 住 所 _____ 氏 名 _____	
別添のとおり、防火 防災 管理に係る消防計画作成（変更）したので届け出ます。	
管理権原者の氏名 （法人の場合は、名称及び代表者氏名）	
防火対象物 又は _____ の所在地 建築物その他の工作物	川上郡 標茶町
防火対象物 又は _____ の名称 建築物その他の工作物 （変更の場合は、変更後の名称）	
防火対象物 又は _____ の用途 建築物その他の工作物 （変更の場合は、変更後の用途）	令別表第1 （ ）項
その他必要な事項 （変更の場合は、主要な変更事項）	
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 「防火
 防災」の横書きの文字については、該当しない文字を横線で消すこと。
- 3 ※印の欄は記入しないこと。

消 防 計 画

第 1 条

この計画は、消防法第 8 条第 1 項に基づき、防火管理業務について必要な事項を定めて火災、震災等による災害の予防及び人命の安全確保並びに被害の極限防止を図ることを目的とする。

第 2 条

防火管理者は、この計画に定める一切の権限を有し、次の任務を行う。

任 務 内 容	
防 氏 火 名 管 理 者	1 従業員等に対する防火管理上必要な指示命令又は監督 2 避難又は防火上必要な設備の維持管理 3 建築物の自主検査及び消防用設備等の点検及び指導監督 4 消防署に対する関係法令に基づき各種報告及び指導の要請 5 消防計画の検討並びにこれに基づく教育及び訓練の企画又は実施 6 防火対象物維持管理台帳及び震災用非常食料等の保管及び管理 7 その他防火管理上必要な業務

第 3 条

日常における火災予防及び震災時の被害軽減を図るため、火元責任者の担当区域及び任務内容を次のように定める。

火元責任者	担当区域		任 務 内 容
氏 名		日 常 火 災 予 防	1 喫煙、灰、湯沸場等の火気管理 2 火気使用設備器具の使用する前後の安全管理 3 消防設備等の維持管理 4 その他火災予防上必要な事項
氏 名			地 震 対 策
氏 名		◎ 避難場所	
氏 名			

第4条

自主検査及び消防用設備の点検日を次のように定め、検査及び点検を別に定める点検表により実施する。

自主検査	区分	建築物	火気使用	電気設備	危険物施設	備考
	実施者、実施日		設備器具	器具		
	検査実施日	月 日	月 日	月 日	月 日	
検査担当者						

消防用設備の点検	区分	点検種別	消火設備	避難設備	警報設備	備考
	実施者、実施日		器具	器具	器具	
	点検種別及び点検実施日	外観点検	月 日	月 日	月 日	
月 日			月 日	月 日		
機能点検		月 日	月 日	月 日		
		月 日	月 日	月 日		
総合点検	月 日	月 日	月 日			
点検担当者						

第5条

自衛消防組織を次のように定める。

係名	氏名	任務内容
自衛消防隊長		通報の確認、避難誘導及び消火活動の指揮並びに避難の確認
通報連絡員		火災を発見したときは、消防機関119へ通報することと共に建物内及び関係者へ連絡すること。 また、到着した消防隊の誘導及び情報の提供等。
避難誘導員		誘導図に従って顧客を建物外に誘導すること。混乱防止のため大声で避難方向、避難方法等について指示すること。
消火員		消火器又は屋内消火栓により積極的に消火活動にあたること。

第6条

訓練及び教育を次により行う。

区 分		月 日			実 施 月 日			摘 要
部 分 訓 練	消 火 訓 練	月 日	月 日	月 日				
	通 報 訓 練	月 日	月 日	月 日				
	避 難 訓 練	月 日	月 日	月 日				
総 合 訓 練 及 び 防 災 教 育		月 日		月 日				
震 災 訓 練		上記各種訓練に準じて行うほか関係機関が行う訓練に積極的に参加する。						

この計画は、令和 年 月 日から施行する。

日	曜日								
		避難通路等の物品の有無 (避難施設の維持管理)	ガス器具のホースの老化・損傷	電気器具の配線老化・損傷	火気設備器具の異常の有無	吸殻の処置	倉庫等の施錠確認	終業時の火気	その他 (トイレ内の可燃物・ゴミ箱等の確認)
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									

(備考) 検査を実施し、良の場合は ○ を、不良のある場合は × を即時改修した場合は○を付してください。

なお、不備・欠陥がある場合には、直ちに防火管理者に報告するものとします。

別表2

自主検査表（定期）

実施項目及び確認箇所				確認結果
建物構造	(1) 床・はり・壁・床 欠損・ひび割れ・脱落等はないか。			
	(2) 天井 仕上材にはく落・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等はないか。			
	(3) 窓枠・サッシ・ガラス 窓枠・サッシ等には、ガラス等の落下、または、枠自体のはずれのおそれのある腐食、ゆるみ、著しい変形等がないか。			
	(4) 外壁・ひさし・バラベット 貼石・タイル・モルタル等の仕上材に、剥落・落下のおそれのあるひび割れ・浮き上り等を生じていないか。			
避難施設	(1) 避難通路 ① 避難通路の幅員が確保されているか。 ② 避難上支障となる物品を置いていないか。			
	(2) 階段 階段室に物品が置かれていないか。			
	(3) 避難階の避難口 ① 扉の開放方向は避難上支障ないか。 ② 避難階段等に通ずる出入口の幅は適切か。 ③ 避難階段等に通ずる出入口・屋外への出入口の付近に物品その他の障害物はないか。			
火気設備器具	(1) 厨房設備 ① 可燃物品からの保有距離は適性か。 ② 異常燃焼時に安全装置は適切に機能するか。 ③ 燃焼器具の周辺部に炭化しているところはないか。			
	(2) 石油ストーブ・ガスストーブ ① 自動消火装置は適性に機能するか。 ② 火気周囲は整理整頓されているか。			
電気設備	○ 電気器具 ① コードに亀裂、老化、損傷はないか。 ② タコ足の接続を行っていないか。 ③ 許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。			
その他	○ 危険物 ① 容器の転倒、落下防止装置はあるか。 ② 危険物の漏れ、あふれ、飛散はないか。 ③ 整理清掃状況は適性か。			
検査実施者氏名	検査実施日	検査実施者氏名	検査実施日	防火管理者 確認
構造関係	年 月 日	火気設備器具	年 月 日	
避難関係	年 月 日	電気設備	年 月 日	

(備考) 検査を実施し、良の場合は ○ を、不良のある場合は × を即時改修した場合は○を付してください。

なお、不備・欠陥がある場合には、直ちに防火管理者に報告するものとします。

別表3

消防用設備等自主点検チェック表

実施設備	確認箇所	検査結果
消火器 年 月 日 実施	(1) 設置場所に置いてあるか。	
	(2) 消火薬剤の漏れ、変形、損傷、腐食等がないか。	
	(3) 安全栓が外れていないか。安全栓の封が脱落していないか。	
	(4) ホースに変形、損傷、劣化等がなく、内部に詰まりがないか。	
	(5) 圧力計が指示範囲にあるか。	
屋内消火栓設備 年 月 日 実施	(1) 使用上の障害となる物品はないか。	
	(2) 扉は確実に開閉できるか。	
	(3) ホース、ノズルが接続され、変形、損傷はないか。	
	(4) 表示灯は点灯しているか。	
自動 火災報知設備 年 月 日 実施	(1) 表示灯は点灯しているか。	
	(2) 受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。	
	(3) 用途変更、間仕切り変更による未警戒部分がないか。	
	(4) 感知器の破損、変形、脱落はないか。	
誘導灯 年 月 日 実施	(1) 改装等により、設置位置が不適正になっていないか。	
	(2) 誘導灯の周囲には、間仕切り、衝立、ロッカー等があつて、視認障害となっていないか。	
	(3) 外箱及び表示面は、変形、損傷、脱落、汚損等がなく、かつ適正な取付状態であるか。	
	(4) 不点灯、ちらつき等がないか。	
非常ベル 年 月 日 実施	(1) 表示灯は点灯しているか。	
	(2) 操作上障害となる物がないか。	
	(3) 押しボタンの保護板に破損、変形、損傷、脱落等がないか。	
放送設備 年 月 日 実施	(1) 電源監視用の電源電圧計の指示が適正か、電源監視用の表示等が正常に点灯しているか。	
	(2) 試験的に放送設備により、放送が出来るかどうか確認する。	
避難器具 年 月 日 実施	(1) 避難に際し、容易に接近できるか。	
	(2) 格納場所の付近に物品等が置かれ、避難器具の所在がわかりにくくはないか。	
	(3) 開口部付近に物品等が置かれ、開口部をふさいでいないか。	
	(4) 降下する際に障害となるものがなく、必要な広さが確保されているか。	
	(5) 標識に変形、脱落、汚損がないか。	
スプリンクラー 設 備 年 月 日 実施	(1) 散水の障害はないか。(例：物品の集積など)	
	(2) 間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。	
	(3) 送水口の変形及び操作障害はないか。	
	(4) スプリンクラーのヘッドに漏れ、変形はないか。	
	(5) 制御弁は閉鎖されていないか。	
備 考	検査実施者氏名	防火管理者確認